

地域日本語教育の取組の実態及び支援に関する調査

■調査の趣旨

愛知県内の日本語教育の一層の向上を図るため、本県における日本語教育・日本語学習支援の実態や外国人県民のニーズを的確に把握し、「あいち地域日本語教育推進ハンドブック」を作成する上での基礎資料とする。

■調査期間

2022年11月1日(火)～2023年2月10日(金)

■調査方法

(1) 県内市町村地域日本語教育担当課の実態調査
調査票によるアンケート調査(メール)

(2) 初期日本語教室の参加者(日本人及び外国人)の実態調査
調査票によるアンケート調査(紙、WEB)

調査票は、8言語(英語・ポルトガル語・中国語・ベトナム語・フィリピン語・スペイン語、ネパール語、インドネシア語)及び日本語・やさしい日本語版作成。

(3) 県が推進する体制で初期日本語教室に取り組む市町村へのヒアリング調査
オンラインまた対面によるヒアリング調査

■調査対象及び回答数

(1) 県内市町村地域日本語教育担当課
53市町村

(2) 県内市町村が実施する初期日本語教室の参加者

① 学習者 45件

② 学習支援者(日本語パートナー) 72件

(3) 県が推進する体制で初期日本語教室に取り組む市町村

① 市町村・国際交流協会の担当者 5件

② コーディネーター 6件

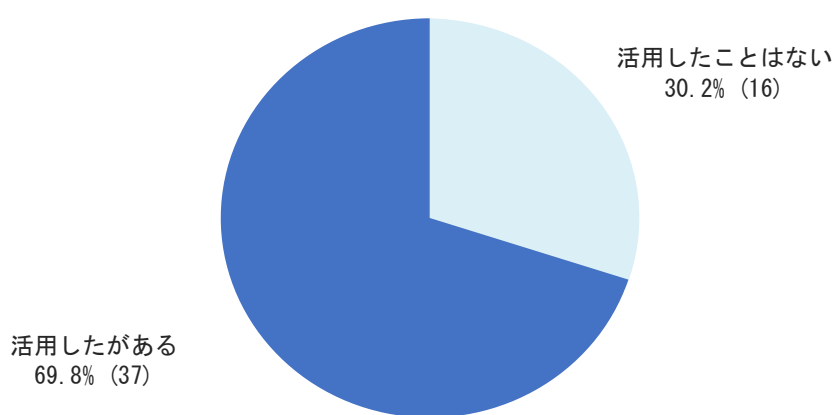
■ 県内市町村地域日本語教育担当課 アンケート結果

1. ご回答者について

- (1) 貴市町村名 省略
- (2) 貴部署名 省略
- (3) ご回答者名 省略

2. 外国人住民の状況把握や課題の整理のために、住民基本台帳等の基礎データを活用したことがありますか。(該当するものにチェック)

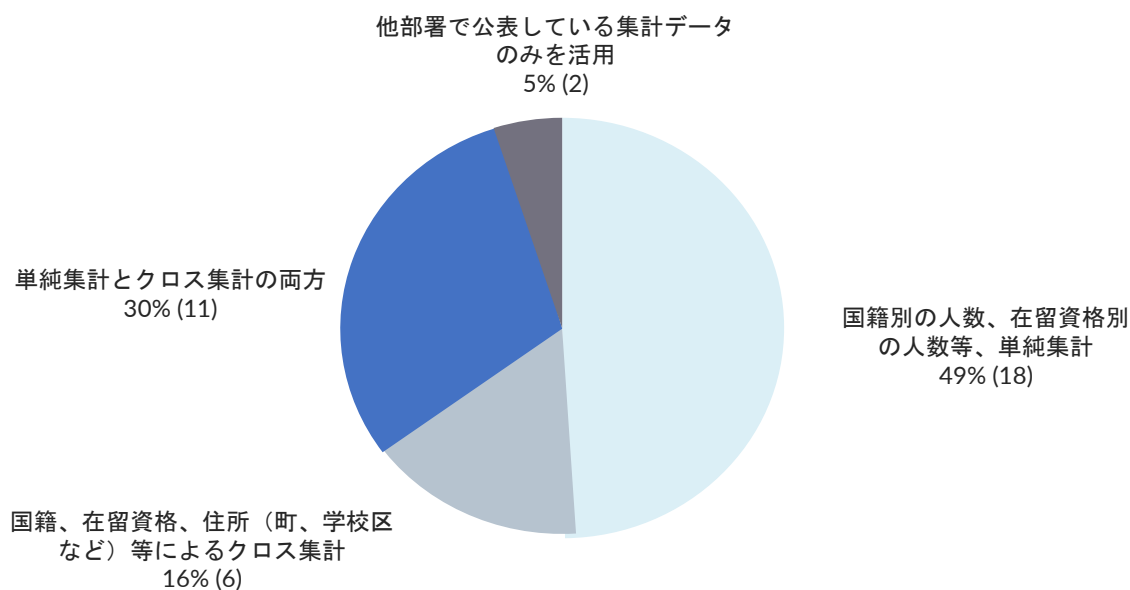
回答数 53



2-1. 問2で「1. 活用したことがある」と答えた団体にお聞きします。

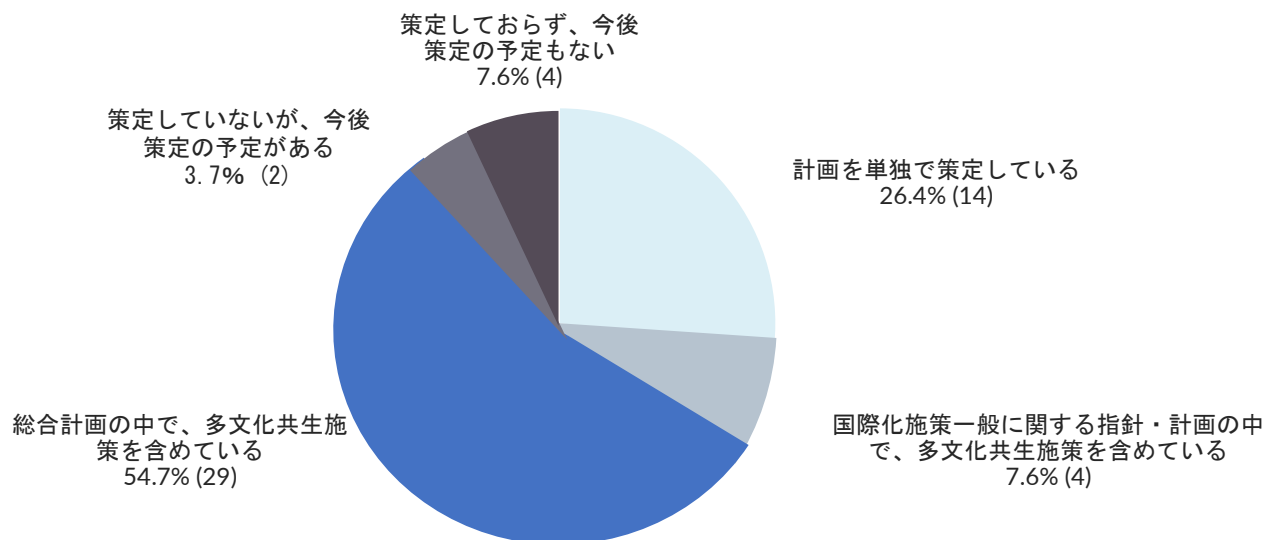
どのような方法で、基礎データから状況の把握・課題の整理をしましたか。(該当するものにチェック)

回答数 37



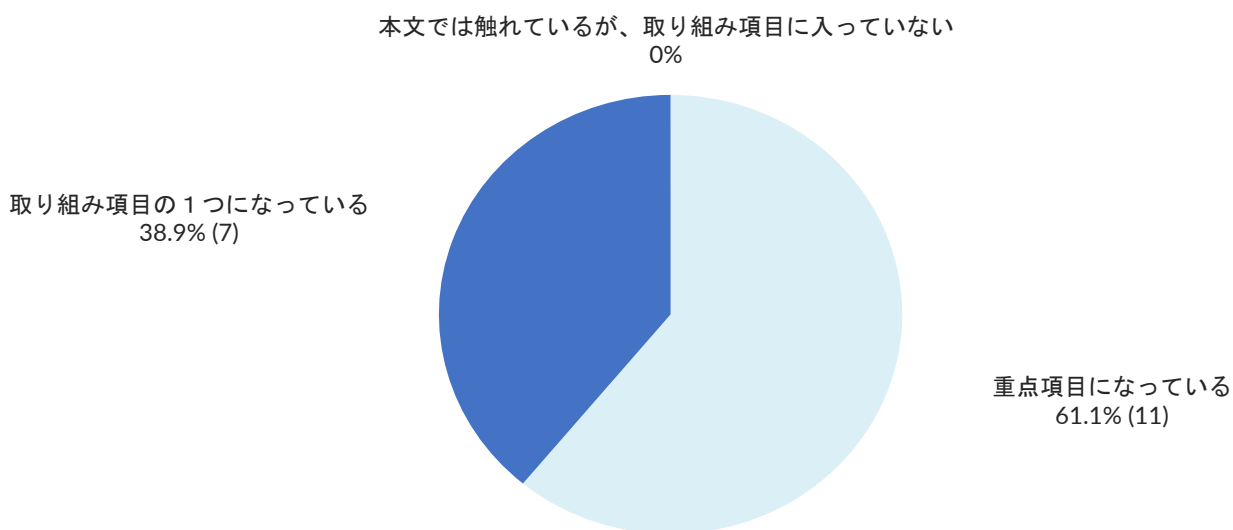
3. 貴市町村には多文化共生施策等がありますか。(該当するもの一つにチェック)

回答数 53



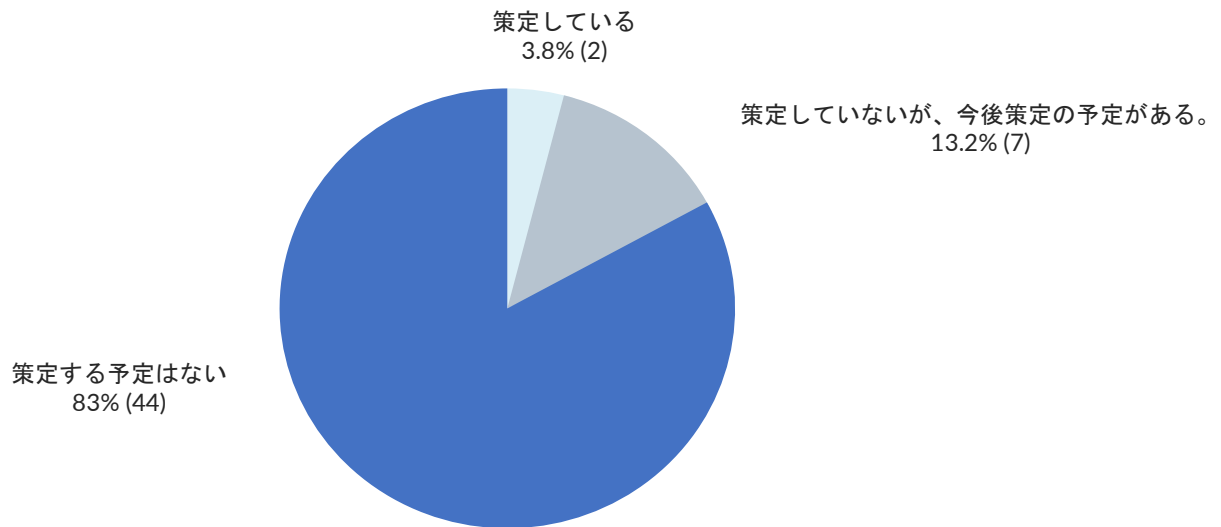
3-1. 問3で「1. 策定している」または「2. 多文化共生施策を含めている」と答えた団体で、多文化共生や国際化施策一般に関する指針・計画の中で、日本語教育・日本語学習支援に関する事業（やさしい日本語の研修は含まない）に関する記載はありますか。(該当するもの一つにチェック)

回答数 18



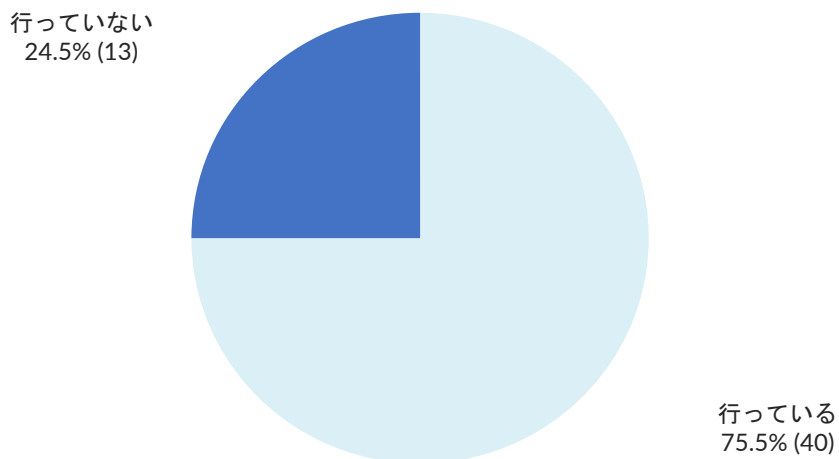
4. 地域日本語教育の推進に関して、基本的な方針（日本語教育の推進に関する法律第 11 条に定められた努力規定）を策定していますか。（該当するもの一つにチェック）

回答数 53



5. 貴市町村では成人向けに日本語教育・日本語学習支援に関する事業（以下、「日本語教育事業」とする）を行っていますか。（該当するもの一つにチェック）

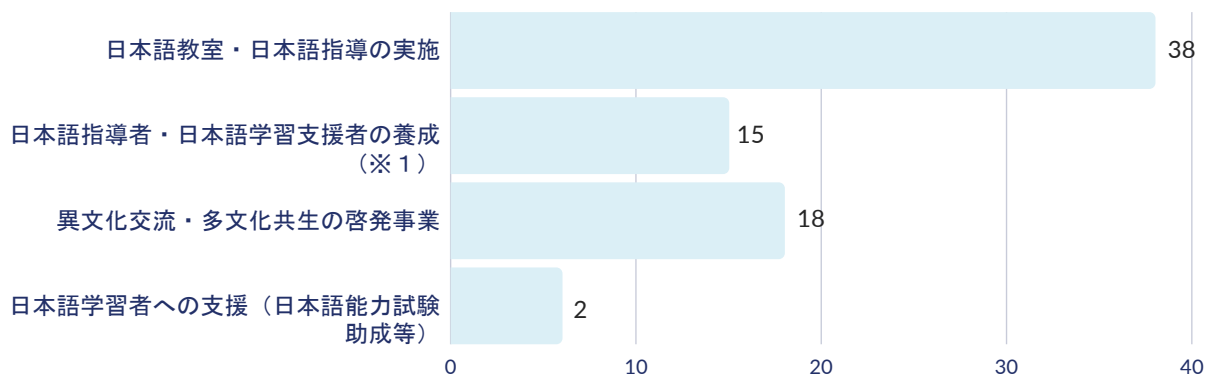
回答数 53



5-1. 問5で「1. 行っている」と答えた団体にお聞きします。

どのような日本語教育事業を行っていますか。(該当するもの全てにチェック)

回答数 40

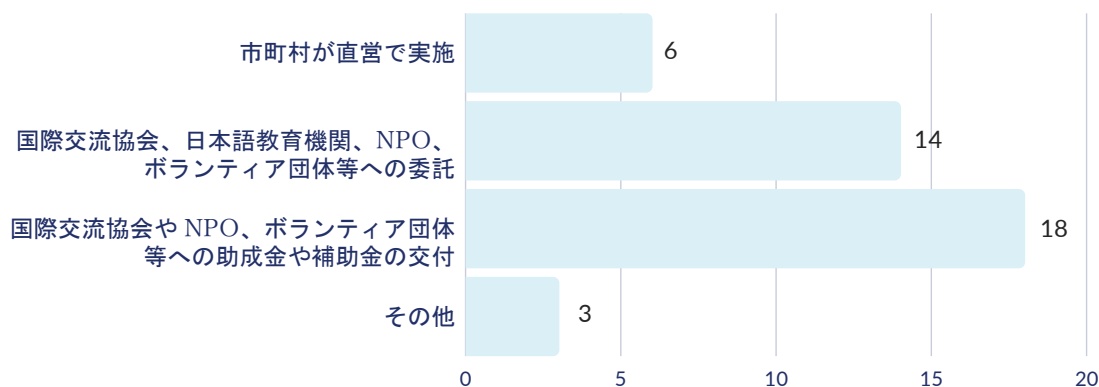


(※1) 養成とは、地域の日本語教室で活動する人を育てる目的で行うもの。やさしい日本語の研修など、一般的な市民講座は含まない。

5-2. 問5-1で「1. 日本語教室・日本語指導の実施」と答えた団体にお聞きします。

日本語教室・日本語指導は、どのように運営していますか。(該当するもの全てにチェック)

回答数 38

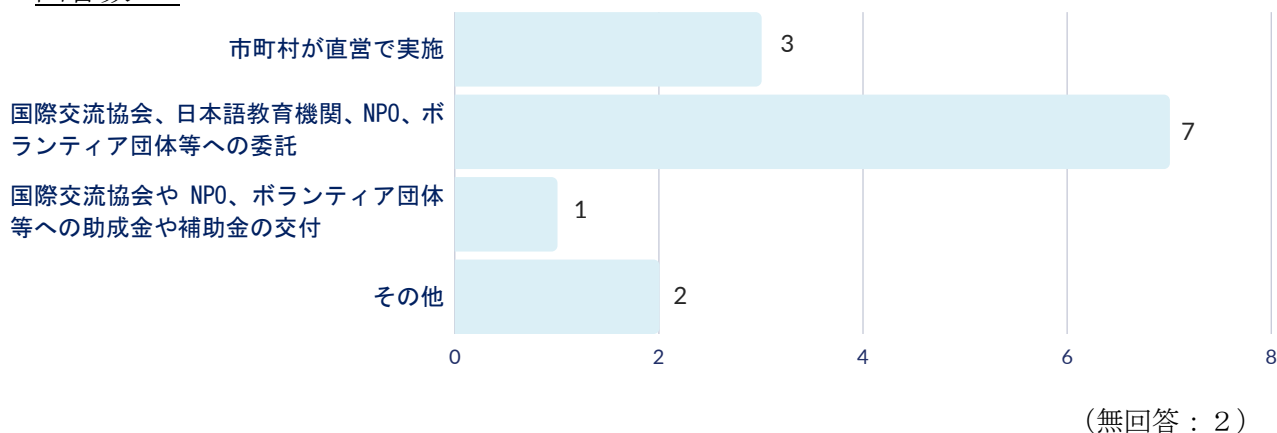


【その他の回答】

- ・市と国際交流協会との共催。協会予算で実施はNPOへ委託。会場・広報は市が担当。
- ・市と市民活動団体の協働事業
- ・会場を市がとり、広報掲載の支援をし、受付窓口が市

5-3. 問5-1で「2.日本語指導者・日本語学習支援者の養成」と答えた団体にお聞きします。
養成講座は、どのように運営していますか。(該当するもの1つにチェック)

回答数 13



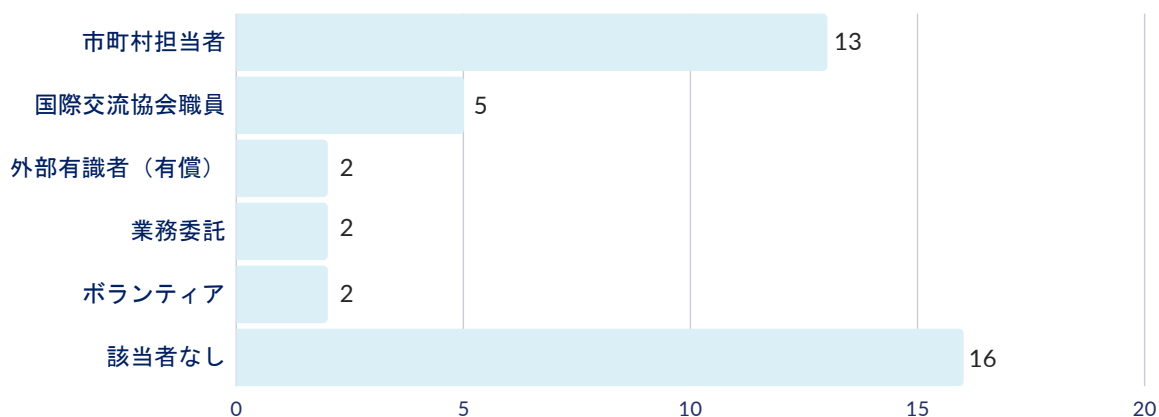
【その他 回答】

- ・愛知県の初期日本語教育向け指導者養成講座の共催
- ・市と協会共催。予算と会場は市、協会が周知募集担当。

6. 日本語教育コーディネーター (※2) に関する業務は誰が行っていますか。
(該当するもの一つにチェック)

(※2) 日本語教育コーディネーターとは、地域日本語教育プログラムの策定・教室運営・改善 を行ったり、日本語指導者等に対する指導・助言を行うほか、多様な機関との連携・協力を担う者。

回答数 40



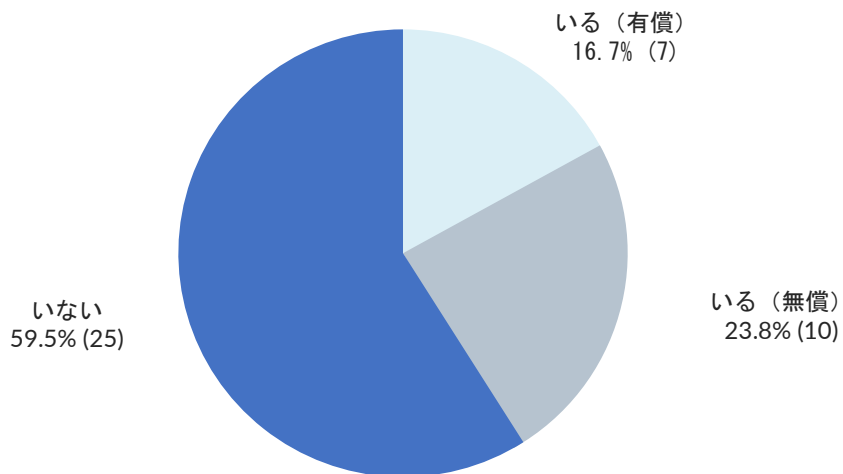
【該当者なし 回答】

- ・すべての業務を単独で行っている人はいない
- ・市担当者、協会職員、ボランティアのそれぞれがコーディネーターとしての業務を部分的に行っているが、特定の者が包括的に業務を行っていない

7. 日本語指導者（※3）を配置していますか。（該当するもの一つにチェック）

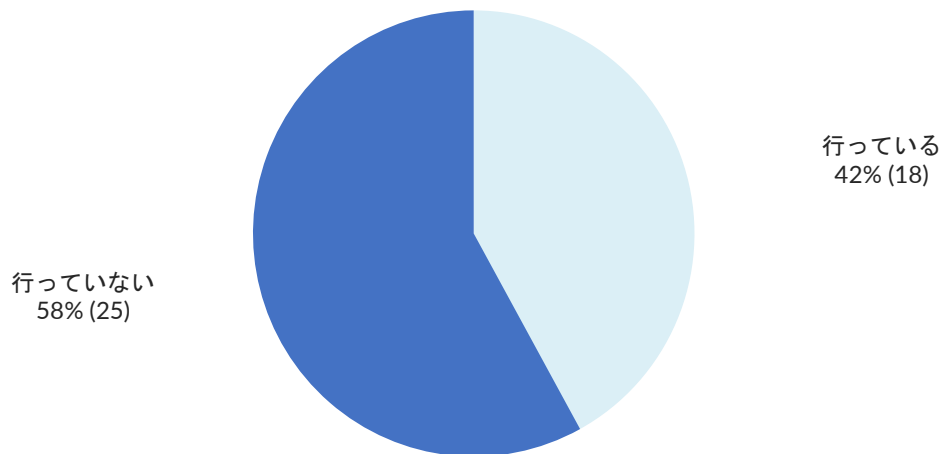
（※3）日本語指導者は、地域の日本語教育に関する知識を持ち、日本語教室の学習内容の企画、指導、進行等を行う者

回答数 42



8. 日本語教育事業の事業評価を行っていますか。（該当するもの一つにチェック）

回答数 43

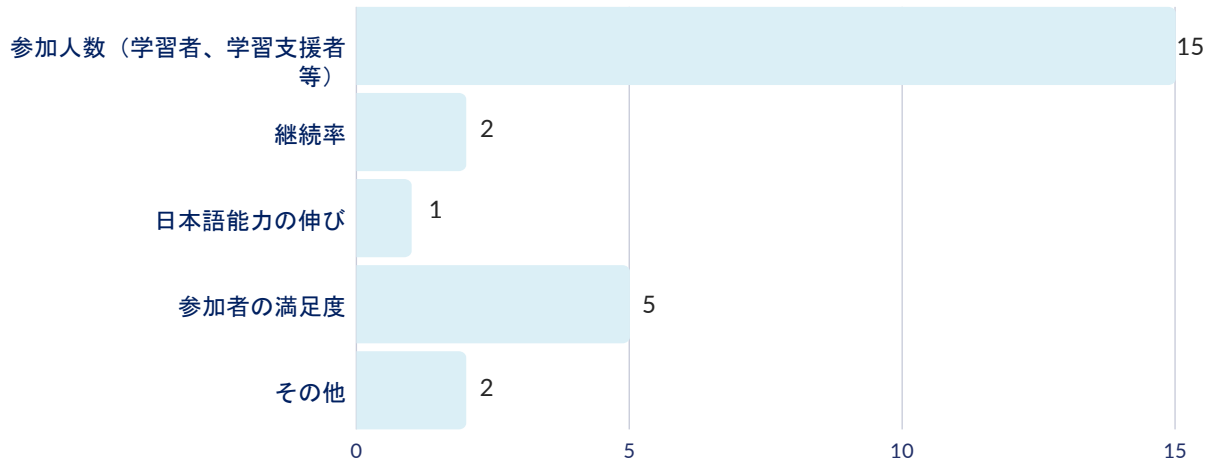


8-1. 問8で「1.行なっている」と答えた団体にお聞きします。

日本語教育事業の事業評価をどのように行っていますか。(該当するもの全てにチェック)

回答数 18

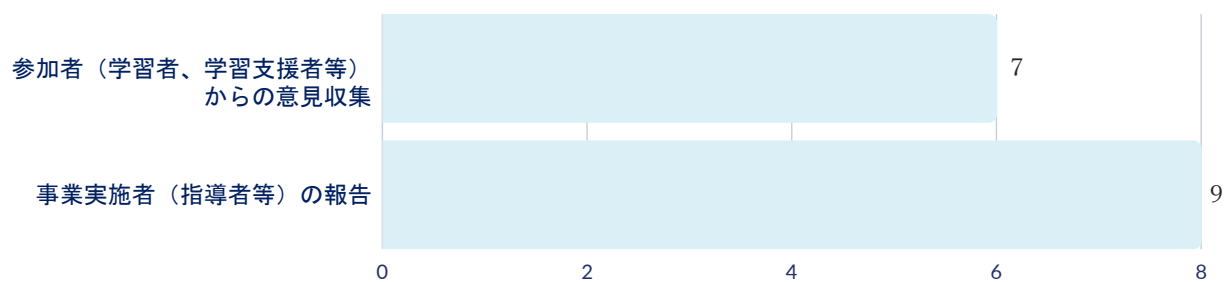
【定量的評価】



【その他 回答】

- ・教室の開催回数
- ・参加者の国籍、在留資格等の調査

【定性的評価】

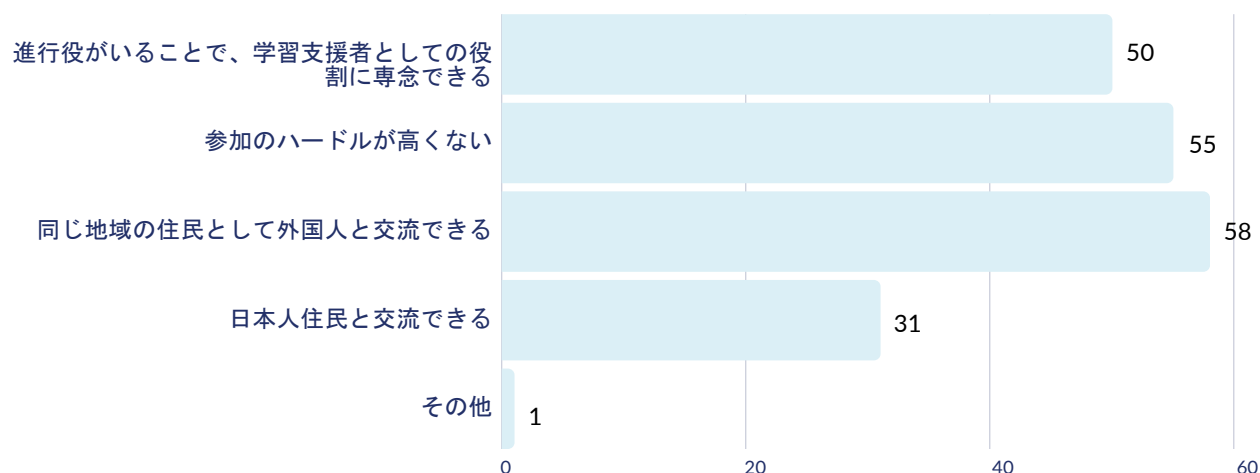


■学習支援者アンケート結果

1. 教室について

(1) この教室の進め方や活動についてよかったと思うことを教えてください。

回答数 72

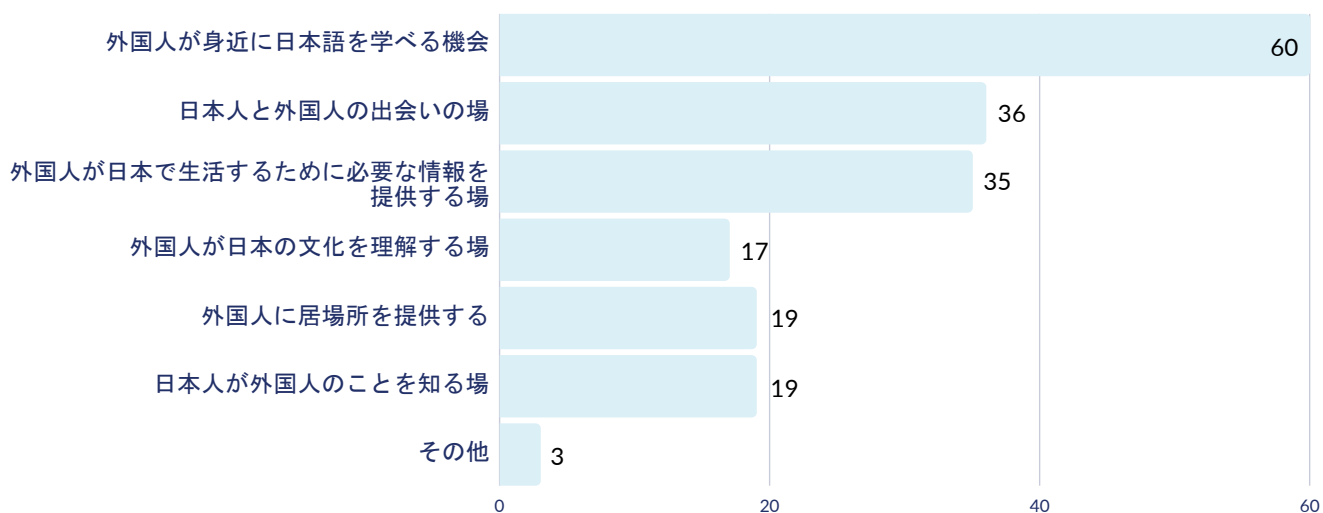


【その他 回答】

- ・テキストがあるので安心

(2) あなたが活動している日本語教室は、学習者にとって、また、地域にとってどんな役割を果たしていると思いますか。3つまで選んでください。

回答数 72



【その他 回答】

- ・防災、ごみ捨てなど身近なことを話題にしている
- ・居場所以外の項目が当てはまる
- ・日本人と出会い、生活するために必要な情報を得て、日本の文化、日本人のことを知る場

2. 活動全体

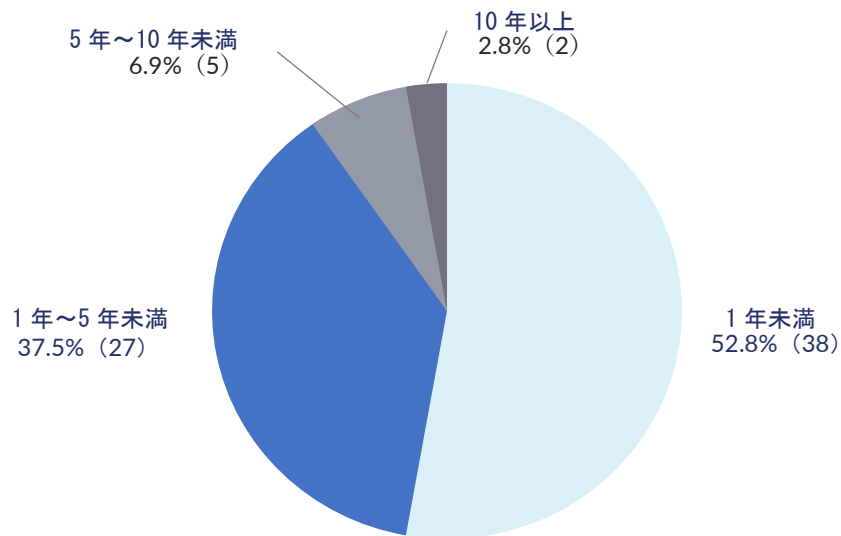
(1) 居住地 (市町まで)

回答数 72

尾張旭市 [15]、岩倉市 [13]、常滑市 [11]、豊田市 [10]、刈谷市 [8]、名古屋市 [2]、知多市 [2]、江南市 [1]、蒲郡市 [2]、北名古屋市 [1]、豊橋市 [1]、長久手市 [1]、瀬戸市 [1]、長久手市 [1]、知多郡美浜町 [1]、西尾市 [1]、岡崎市 [1]、みよし市 [1]、無回答 [1]

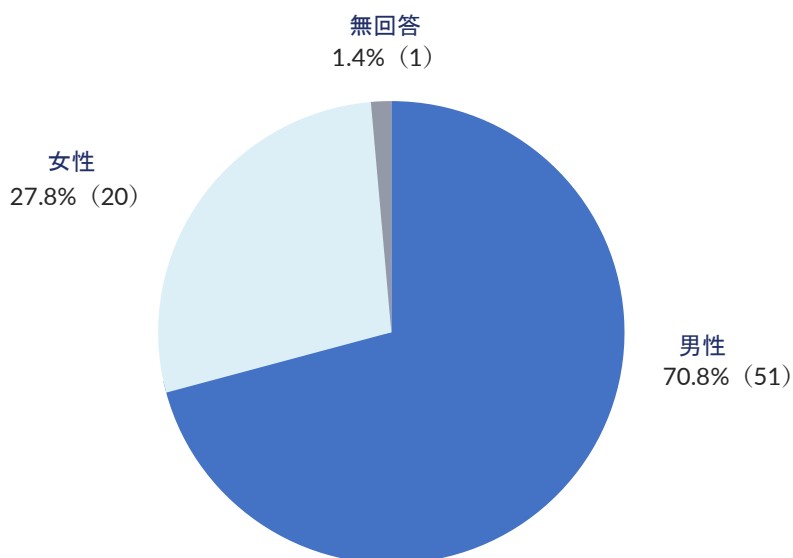
(2) 活動年数

回答数 72



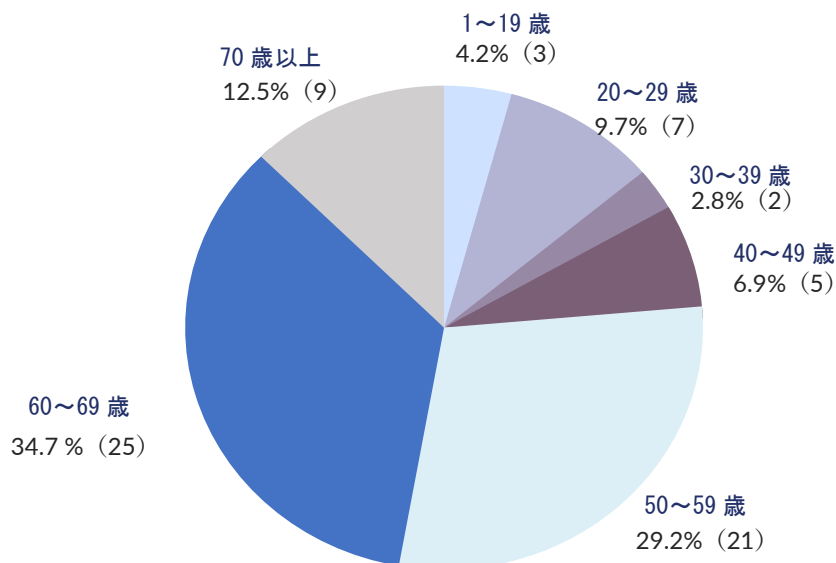
(3) 性別

回答数 72



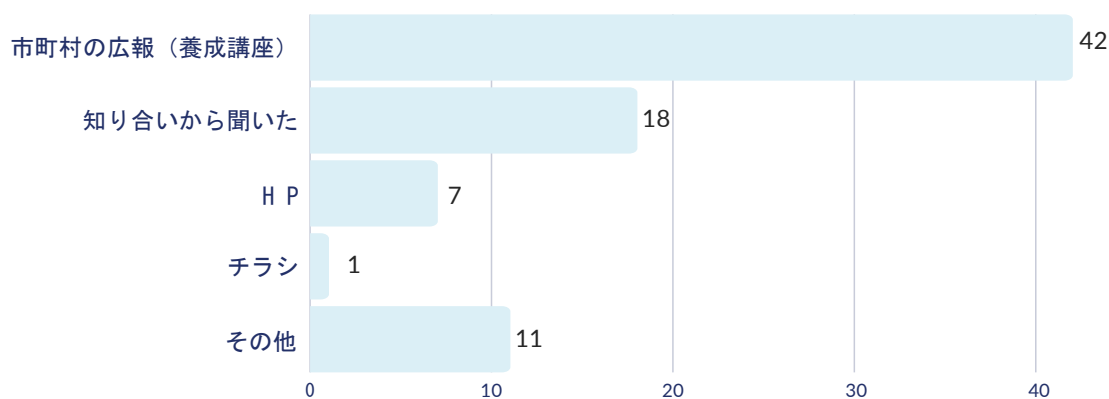
(4) 年齢

回答数 72



(5) ボランティアをはじめたきっかけ

回答数 72

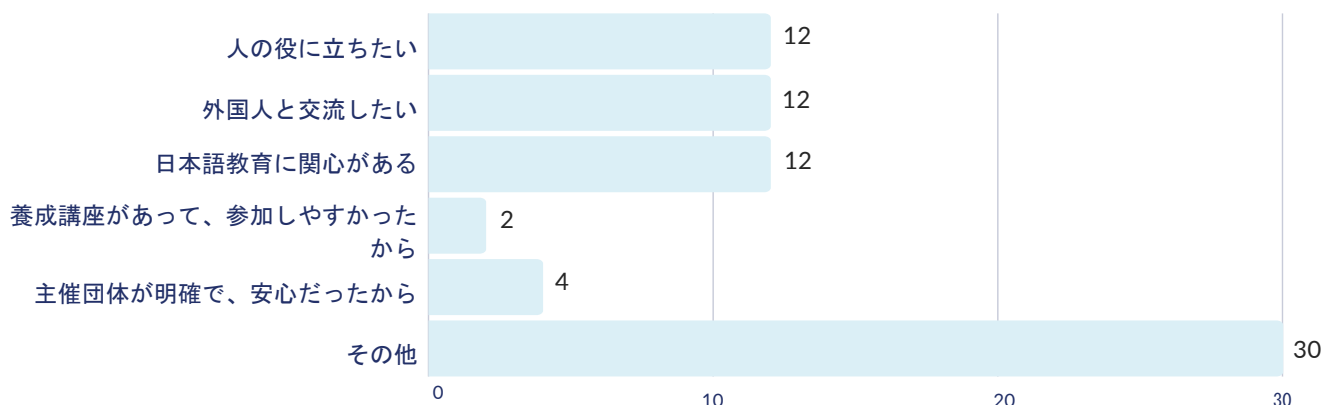


【その他 回答】

- ・日本語教師になりたいくて大学で6か月勉強し受験しましたが、2回とも受かりませんでした。とりあえずボランティアをしようと思って今まで続いています。
- ・日本語教師として学習・習得したので
- ・市民活動参加相談の場所による情報提供
- ・もともと災害ボランティアセンター運営ボランティアなどしていたため
- ・ちょっと興味はありましたが、参加するのはなかなか勇気がいりました
- ・日本語を学びたい研修生と知り合いになったから
- ・仕事をやめボランティアをしたいと思っていた
- ・定年後暇を持て余していたところ、近所の人から勧められた
- ・岩倉市の日本語教室勉強会に参加
- ・日本語教師の資格を持っているだけなので実践の場として
- ・仕事をやめて時間に余裕ができ何かしたいと思った

(6) 日本語教室に参加した動機はなんですか？最も当てはまるものを1つ選択してください。

回答数 72



【その他 回答】

- ・引っ越して来たばかりで、知り合いがいなかったので知り合いが欲しかった。尾張旭市の方と交流できて楽しかったです！日本人、外国人問わず。
- ・日本語教師としての資格は持ってないし、経験も浅いので、そういったことでの不安とか悩みを払しょくしたかったから
- ・外から見ていることの多い外国人に対して、自分で触れ合い、体感することによって 外国人に対する自分の気持ちを確かめたかった
- ・地元に関わる活動に参加してみたかったから
- ・暇つぶし
- ・外国人と話がしたかった。初めて参加したが面白かったし楽しかった
- ・人の役に立ちたいのと、もともと災害ボランティアセンター運営ボランティアなどしていた
- ・日本語教師を目指しています。この教室での経験もとても役に立っています
- ・養成講座の抽選に漏れてしまったので、日本語教師の講座を受講、その後このクラスを立ち上げると知人から教えてもらい参加しました
- ・いろいろな国と人と出会い、各国の文化を知りたかった
- ・楽しい講座でした。一人の外国籍の男の子と親しくなり学習支援をすることになりました。無事に高校受験ができるといいなあ
- ・主催団体が明確で、安心だったのと、何か楽しいことをやってみたかった。

【参考】

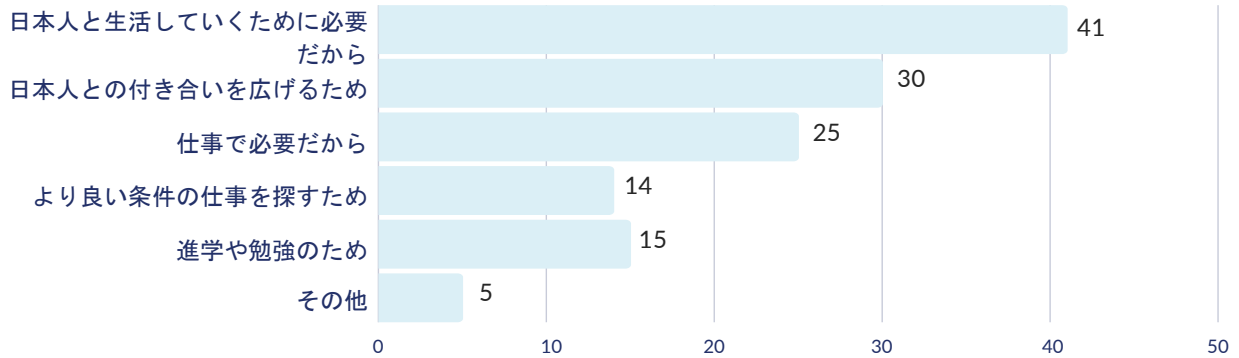
その他のうち、複数回答者（18）の内訳

- ・人の役に立ちたいから . . . 10
- ・外国人と交流したい . . . 13
- ・日本語教育に関心がある . . . 13
- ・養成講座があって、参加しやすかったから . . . 7
- ・主催団体が明確で、安心だったから . . . 6

I. 教室について

(1) あなたは何のために日本語を学んでいますか。該当するもの全てにチェックしてください。

回答数 45

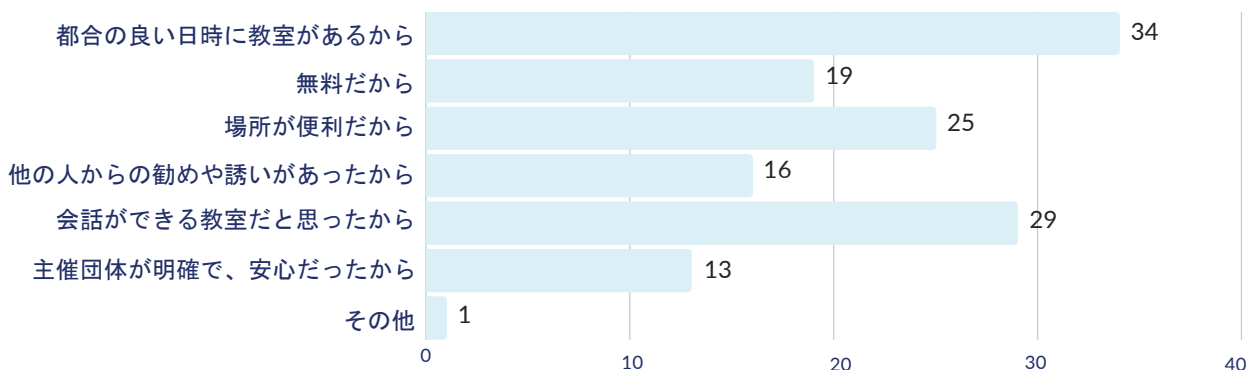


【その他 回答】

- ・日本のことをもっと理解するために、英語で話しかけられなくてもいいように。日本人と出会い、日本文化を学ぶために。
- ・新しい言葉を増やすため
- ・日本でより良い生活を送るために
- ・高校へ行く前に日本語を上達させる
- ・息子の学校の先生と会話できるように

(2) あなたはどのようにしてこの教室に参加しましたか。該当するもの全てにチェックしてください。

回答数 45

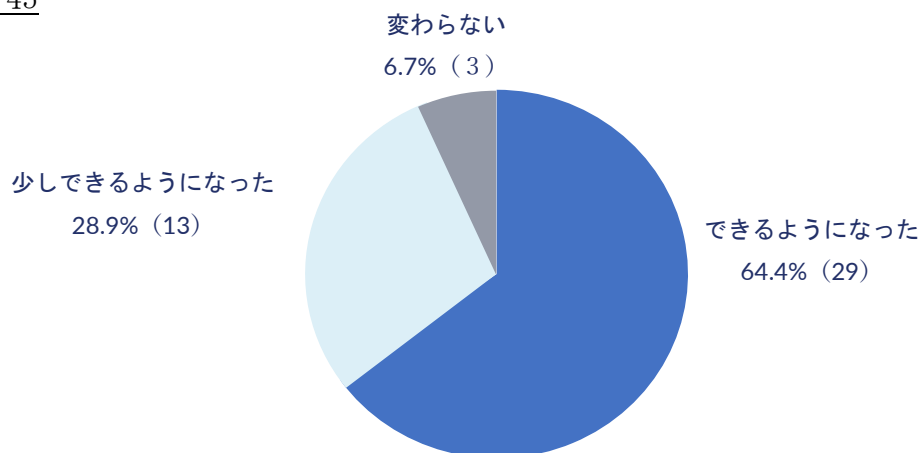


【その他 回答】

- ・学び続けたいという思いから

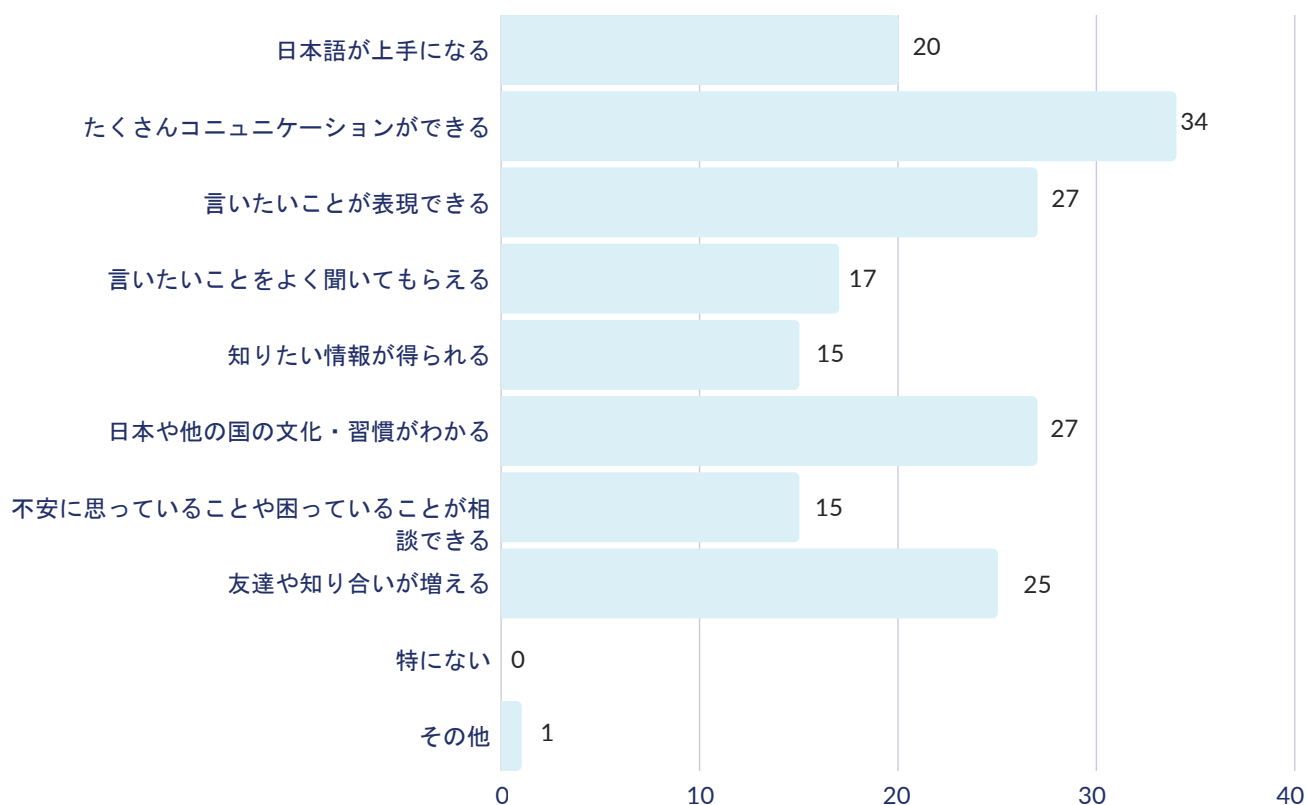
(3) この教室で勉強する前よりも、日本語を使ってスムーズに生活ができるようになりましたか。該当するもの一つにチェックしてください。

回答数 45



(4) この教室の良いところは何ですか。該当するもの全てにチェックしてください。

回答数 45

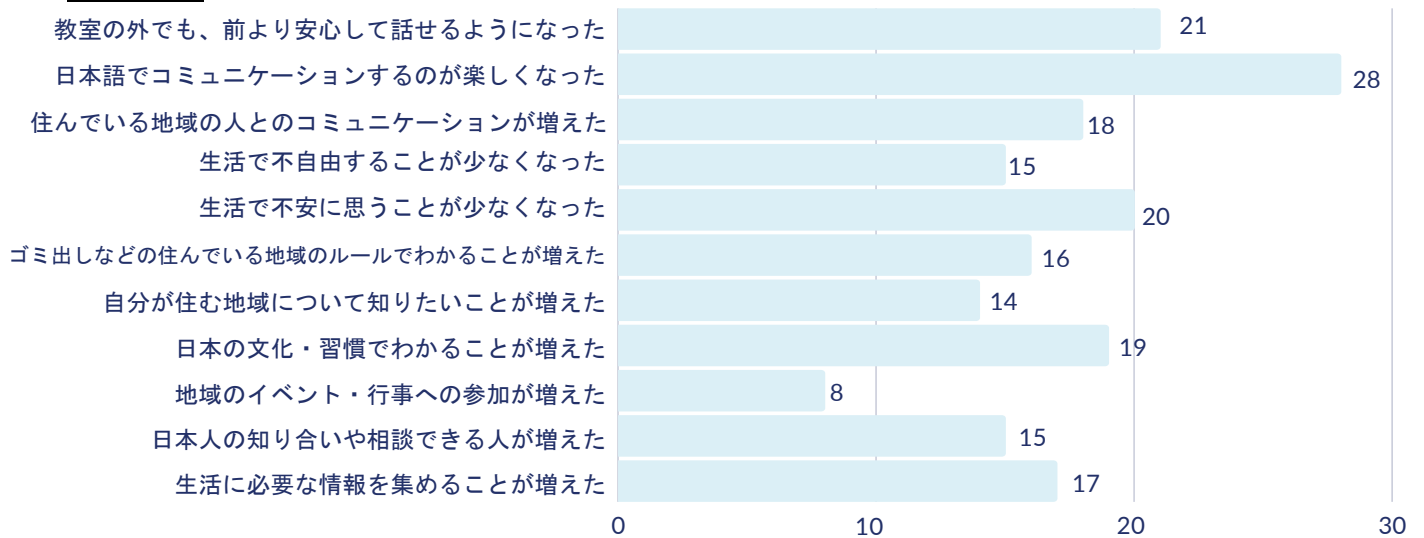


【その他 回答】

- 同じテーマを別のグループで繰り返す機会があり、とても役立っています

(5) この教室で勉強したことで、生活がどのように変わりましたか。該当するもの全てにチェックしてください。

回答数 45



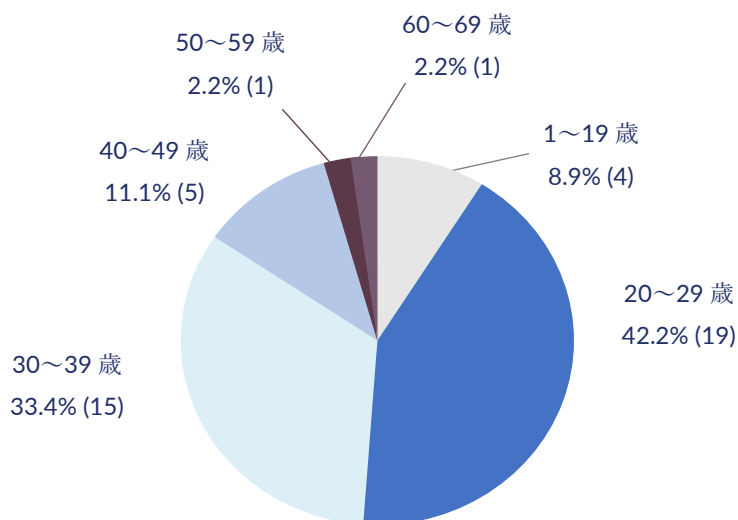
(6) 教室について、感想や意見、提案などを自由に書いてください。(自由記述)

- ・日本語があまり話せない人には難しいと思いますが、日本語を話す人とたくさん話す機会が欲しい人にはおすすめです。
- ・話題の会話に役立つ、会話で使える文型の例文もあります。
- ・このクラスは楽しかったです。
- ・どの先生も忍耐力があり、良い授業をしてくれます。またお会いできることを楽しみにしています。
- ・日本語を学ぶ雰囲気は、とてもフレンドリーで、厳しくなく、楽しいです。
- ・授業はエンターテインメント性があり、楽しい。たくさん学べます。
- ・そのままいいと思う
- ・学習教室でボランティアの方々と交流し、学んでいくうちに、少しずつ日本語が上達し、生活への不安もなくなっていきました。
- ・もっとたくさん生徒が話すといいと思う
- ・違う外国人は発音とコミュニケーションは下手ですが、楽しかったこととか日本語で話せることです。
- ・前は日本人と話す時とても怖いです。今、ここで日本語の先生と勉強してお話も勉強して、今、前より怖くない。とても大丈夫になりました。本当にありがとうございました。とても楽しかったです。この教室は私たちのために本当に欲しい教室です。
- ・このクラスは私のためにとっても楽しいです。そして、先生たちのお話はとても面白いです。
- ・楽しかったです
- ・みんなが優しく親切です。
- ・私たちを助けてくれたみんなに感謝します
- ・家でもっと勉強する必要がある
- ・ここ日本にいる多くの外国人が日本語を学ぶことができるので、これは私にとって良い考えです。
- ・より楽しく魅力的なレッスン。日本語での正しい言い方を教えます。
- ・また無料の日本語レッスンがあることを願っています
- ・いい人たちばかりで、このクラスですべてのステップをサポートしてくれるでしょう。
- ・楽しくて有益なクラスです。

II. 属性・動機等

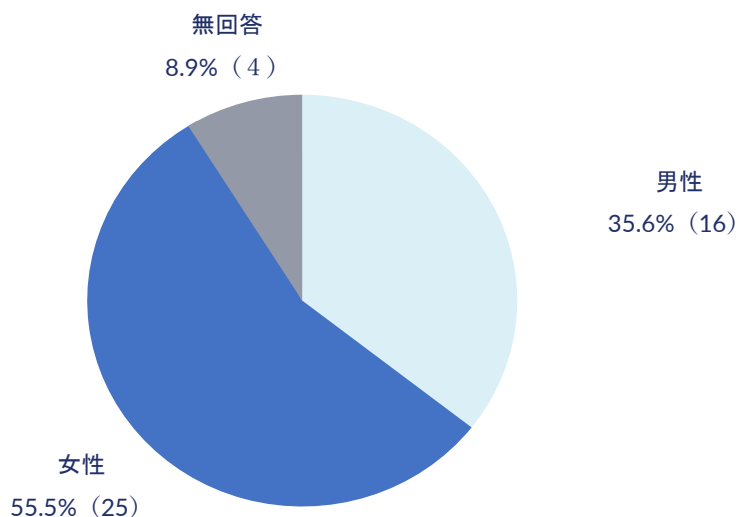
(1) あなたの年齢を教えてください。

回答数 45



(2) あなたが自認している性別を教えてください。答えたくない場合は、無回答を選択してください。

回答数 45



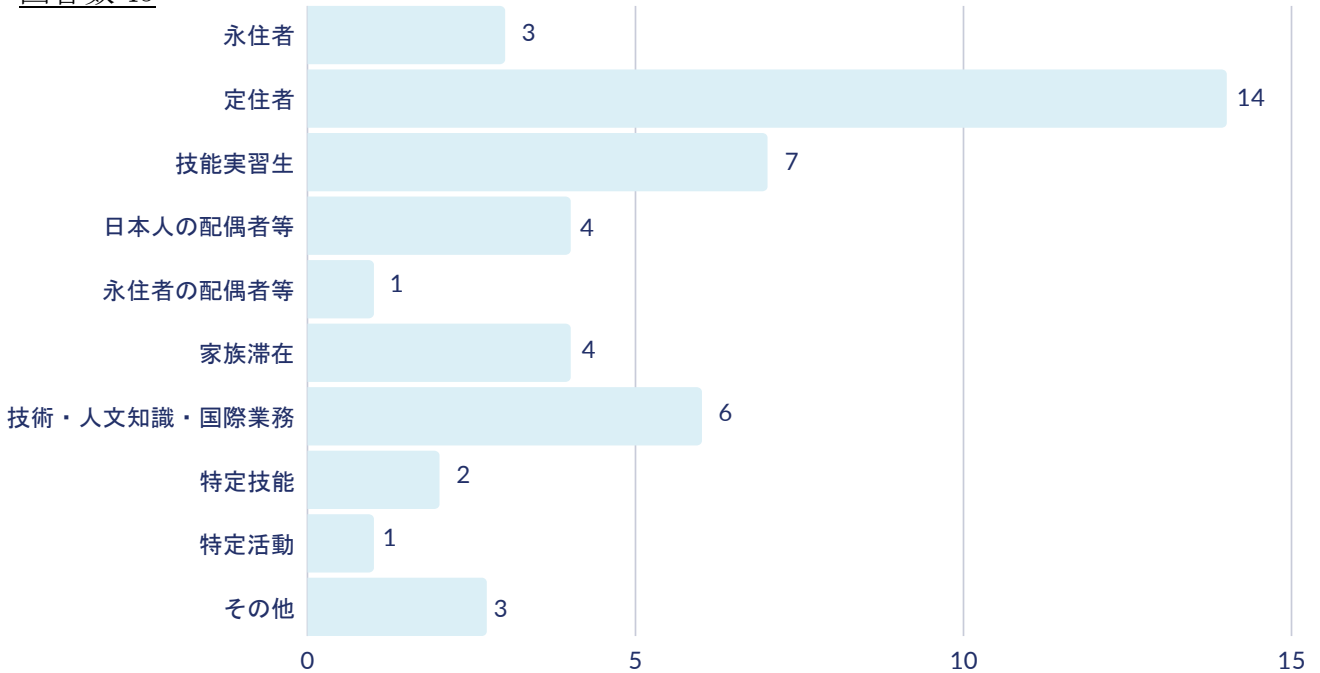
(3) あなたの国籍を教えてください。

回答数 45

フィリピン [12]、ベトナム [9]、ブラジル [7]、インドネシア [4]、日本 [3]、ミャンマー [2]、パキスタン [1]、フランス [1]、ペルー [1]、英国 [1]、韓国 [1]、台湾 [1]、中国 [1]、米国 [1]

(4) あなたの在留資格を教えてください。

回答数 45



【その他 回答】

- ・日本人 2
- ・無回答 1

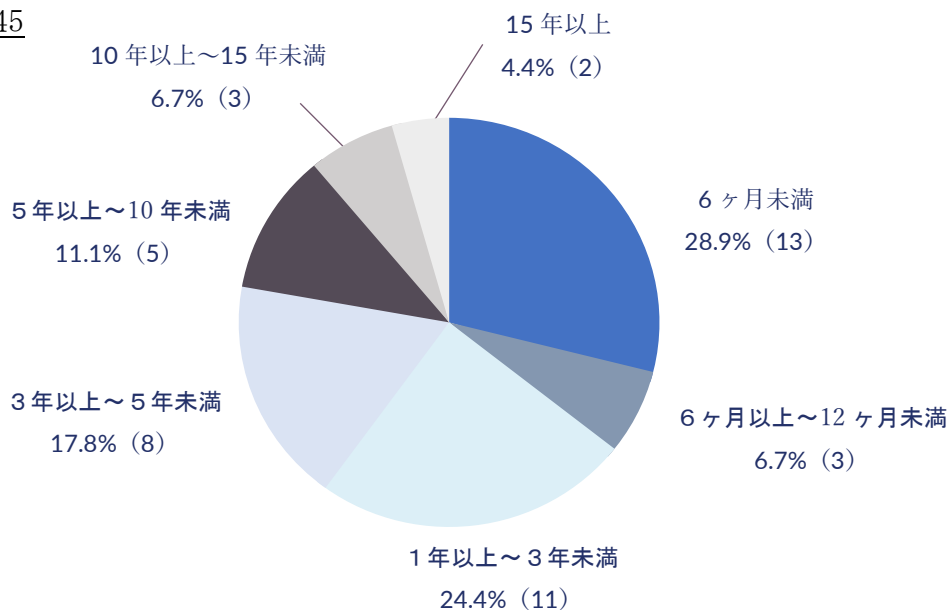
(5) あなたの居住地を教えてください。(市町まで)

回答数 45

豊田市 [10]、岩倉市 [9]、蒲郡市 [8]、常滑市 [6]、刈谷市 [3]、名古屋市 [2]、尾張旭市 [2]、西尾市 [1]、豊川市 [1]、無回答 [3]

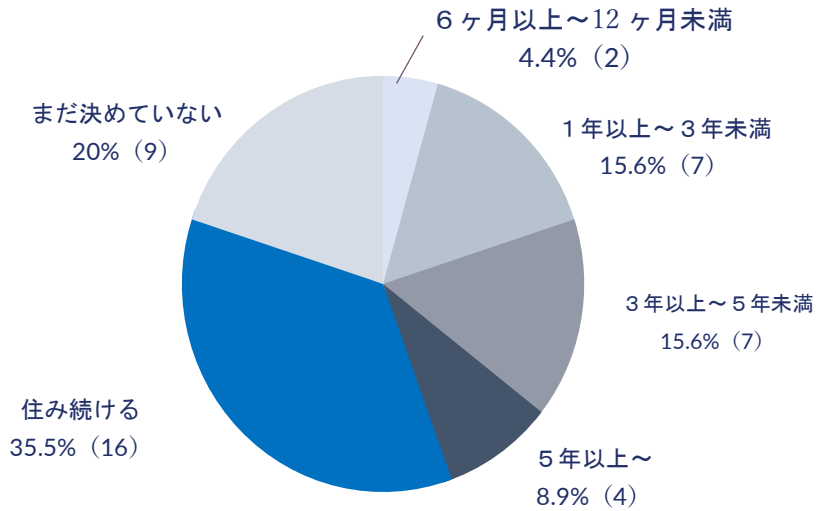
(6) 日本にどれくらい住んでいますか。

回答数 45



(7) 今後、どれくらい日本に在る予定ですか。

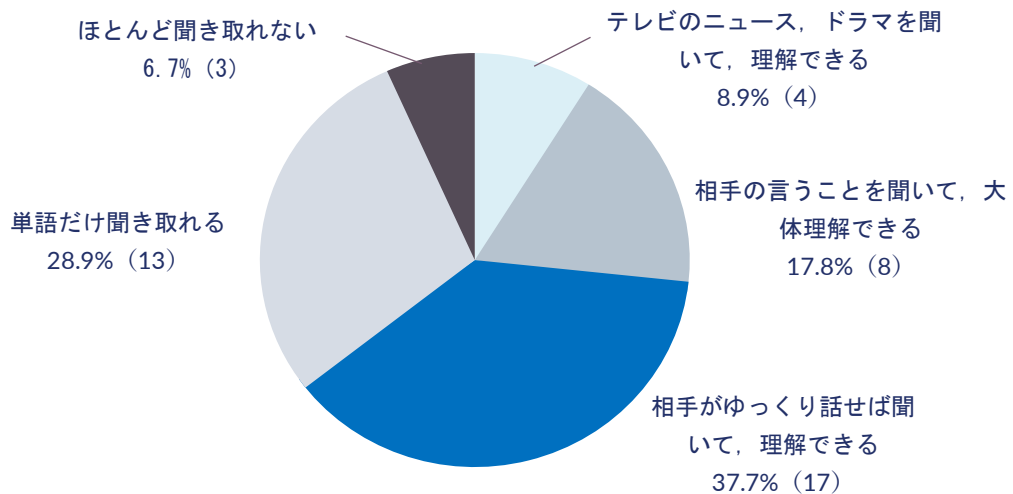
回答数 45



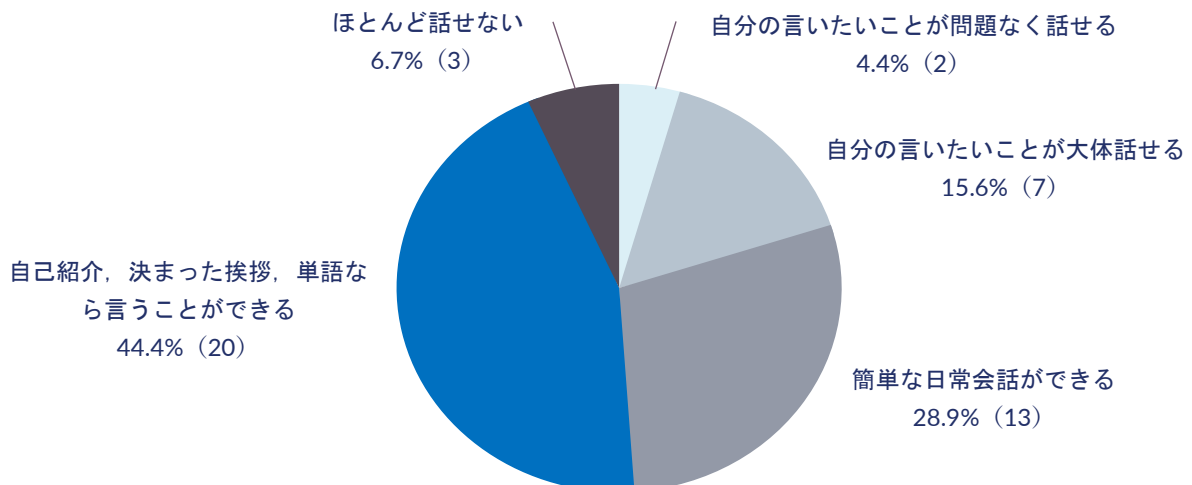
Ⅲ. 日本語能力について

回答数 45

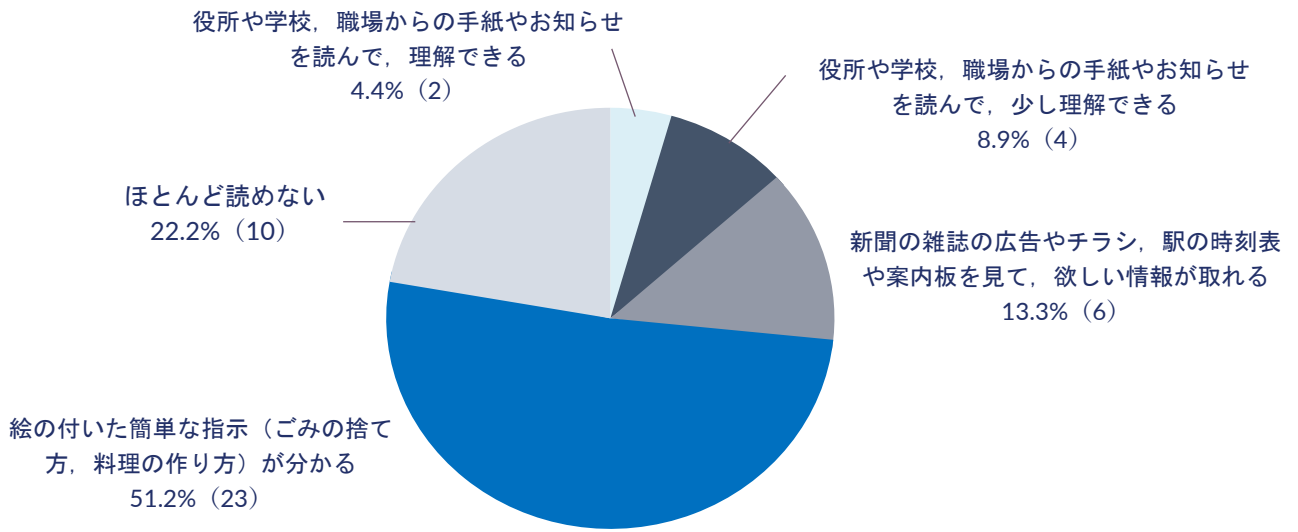
<聞く>



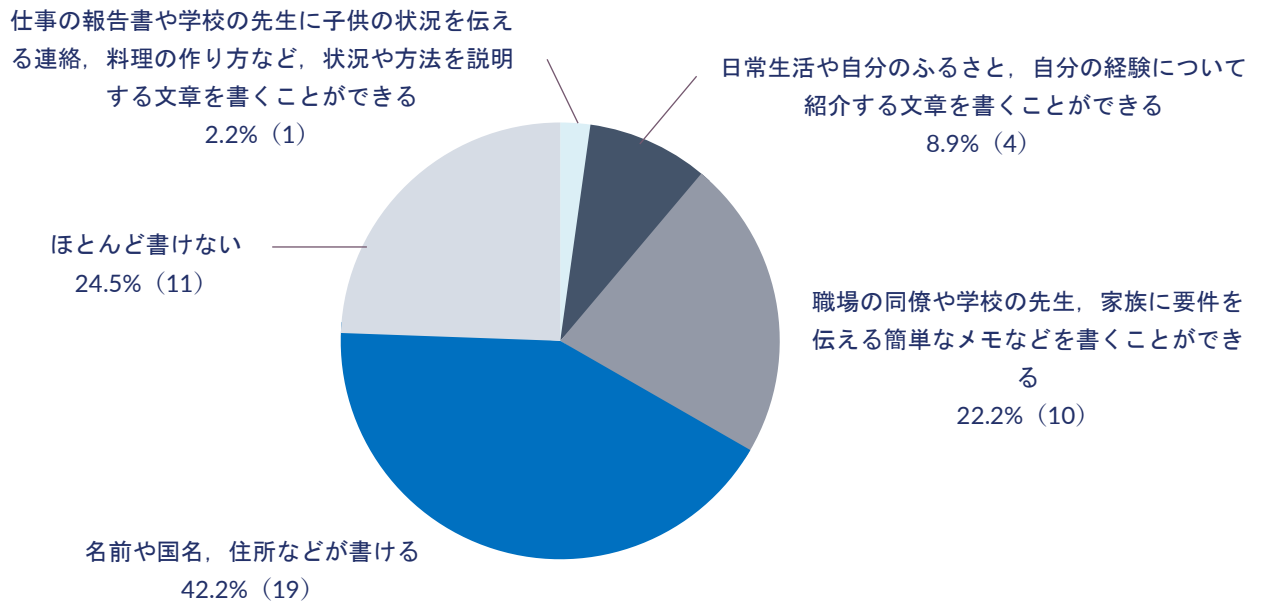
<話す>



<読む>



<書く>



■ヒアリング調査の結果

1. 対象者

県が推進する体制で初期日本語教室に取り組む

- ① 市町村・国際交流協会の担当者 5件
- ② コーディネーター 6件

2. ヒアリング内容

質問（1）地域日本語教育事業に取り組むにあたっての工夫

- ・日本語教育を安定していくために同じ会場を予約するために、行政が優先的に予約できる会場や、協会の持っている施設などを活用する
- ・学習者の受付や管理は、行政職員や協会職員などが行うか、市民活動団体として役員を決めて、運営の部分を担当する人材を確保する
- ・県のモデル事業を活用して、実績をつくることで予算を確保しやすくした
- ・コーディネーターとなる人材を市役所の外に置いて、異動があっても事業が継続できる体制づくりをしたいと考えている
- ・市として予算を確保していくことが難しく、協会事業の一部として実施したり、市民活動団体との協働などで実施している
- ・行政担当者も教室に定期的に顔を出すなど、教室の実態把握をするようにする（教室の現状を共有できていると、課題が発生した時にもお互いに認識のズレが少ない状態で話し合いができる）

質問（2）活動における課題や悩み等

- ・担当課は日本語教育の重要性を感じていても、庁内や他部署に理解を得られるように働きかけていく必要がある
- ・人材育成を市町村単体で実施していくことに難しく、近隣地域と連携したり、県域などで協力して実施できると望ましいと感じる
- ・市役所や協会が予約しやすい会場になりがちだが、本来は学習者の多く住んでいる地域なども配慮して会場選定が行えるといいと感じる
- ・コーディネーターを担当する人が複数人いないと課題を抱えた時に相談できる相手がないために孤立しやすい
- ・学習者や学習支援者への連絡など、コーディネーターもしくは事務局がいなければ円滑な教室運営ができないということを周り伝えていかないといけない（講師の予算さえあれば実施できるわけではないことを理解してもらう必要がある）

質問（3）協働の中で気をつけていること

- 協働相手（協会、市民活動団体等）と意見交換や話し合う場を定期的に設定してどんな目的の日本語教室を作っていくのか目的を共有するように心がけている
- 日本語教室が独立して運営されるのではなく、必要な時に情報共有ができるように行政とのつながりは切れないように意識している
- ボランティアさんから相談される内容は「できない」と断るのではなく、代案を提案したり、常に課題に対して一緒に取り組む姿勢を持つ
(行政や協会の立場では難しいこともあるが、いきなり拒絶しないことが大事)
- 既存のボランティア教室と目的や対象を分けるなど、周囲の理解を得られるように工夫することが重要
- 行政が「発注者」で、協会や市民活動団体が「受託業者」ということではなく、行政は俯瞰的に事業全体や地域全体を見ながら、協会や市民活動団体から現場の声やニーズをしっかりと聞くような関係性づくりを目指している